

3月1日 木曜日  
平成30年(2018年)

発行所  
福島県立原町高等学校  
同窓会

福島県南相馬市原町区西町3-380  
電話 (0244) 23-6196  
印刷所 有限会社ライト印刷



# 原高同窓会会報

題字は元同窓会会長門馬直孝氏



## 真摯に誠実に 原高の伝統を繋いだ一五三名 本日晴れて卒業

本日、福島県立原町高等学校七十回卒業証書授与式が挙行されます。新たに会員となる百五十三名のご活躍を心からお祈りします。

## 同窓生の絆

同窓会長



杉 昭重  
(二十二回卒)

第七十回百五十三名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまでの雪の功成り、人生の新たなステージに進まれる皆さんの奮闘を期待するとともに、原町高校同窓生となられました皆様を大いに歓迎するものであります。青春時代の多感なこの時期、三年間共に学んだという縁を、これからも大切にしていってほしいと思います。皆さんはこれから、日本の、世界の各地で活躍するでしょう。そんな時、原町高校同窓生としての絆はとて尊いものです。

昨年十一月、福島市長選がありました。これに果敢に挑んだのが、原高三十一回卒の木幡浩君です。現職など三名からの出馬でしたが、福島市在住の原高同窓生が結束して支えました。最後まで諦めず粘り強く戦い抜いた結果、見事当選となりました。当選後すぐ、同窓生が集まり、お祝いの会を開催し、同窓生としての絆を確認したことは申すまでもありません。会の終わりに、原高応援歌「相馬の原頭」勝利は常に我にありとを全員で合唱しました。

皆さんの中には、これから地元を離れて他の地域で頑張る人も多いと思います。そんな時、頼りになるのが同窓生

です。同じ原高卒というだけで連帯感が生まれます。どうぞ、いろいろな場面で同窓生を頼ってください。きっと力になってくれるはず。木幡新市長誕生に沸いた市長選でしたが、気になったこともあります。投票率の低さです。二十代は二十%、三十代は三十%、四十代は四十%、五十代は五十%、六十代は六十%、七十代は七十%、八十代は八十%、九十代は九十%、百代は百%、投票率がほぼ同じなのです。十八歳から投票ができるようになり、高校でも主権者教育が行われるようになりましたが、まだまだです。これには家庭教育が影響しているように思われます。子どもが小さいうちから、家族みんなで投票に行くという習慣をつけたらいいのです。

現在、木幡新市長は「スピードと実行」をモットーに精力的に活動しています。二〇二〇年には、福島市でオリンピック野球・ソフトボールが開催されます。「福島でオリンピック開催」、夢のような感動的です。そして、福島

## 変革の時代を 逞しく生きる

校長 佐川 尚史



同窓会の皆様には、日頃より温かいご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本日、第七十回卒業生百五十三名が学び舎を巣立ちます。今後は、社会の様々な分野で活躍をされている二万七千名余りの同窓生の一員として、母校を温かく応援してくれるものと期待しています。

さて、卒業生の皆さんが生きるこれから時代は、予測が難しいほどのスピードで社会が変化していく「変革の時代」だと言われています。例えば、少子高齢化の進展と人口急減、労働人口の減少は、これまでの雇用のあり方や働き方などに大きな変化をもたらすと予想されています。また、AI技術(人工知能)の発展により、非定型型の意思決定を必要とする仕事以外、ロボットに代替され、既存の仕事の半分はなくなる可能性があります。まさに、これまで、当たり前とされてきたことが、劇的に変化していくということなのです。

こうした時代を生き抜いていくためには、マニュアルがないと動くことのできない「マニュアル人間」を脱却し、状況の変化に即応し、主体的に課題解決を図ることのできる力、さらには、グローバルな視点と柔軟な発想によって、新しい価値を生み出すことのできる力を身につけていく必要があります。

そのためには、物事を固定的、限定的に捉えるのではなく、様々な分野を幅広く学び、スポーツ、芸術・文化などにおいても多岐にわたりチャレンジすること、あるいは、異文化との積極的な交流を通して、多様な価値観に触れ、国際的な感覚を身に付けることなどが益々大事になります。そのような、様々な学びや経験を通して、自分の生き方の方向性が見えてくるのだと思

います。何か難しく感じるかもしれませんが、まずは、「やってみよう」という自分の好奇心に素直に従い、行動を起こすことが大切です。行動を起こすことによって、人生の選択肢は増え、チャンスが広がります。変化の激しい混沌とした時代であるからこそ、自分の生き方は、自分で見つけることが重要なのです。

間もなく大震災から七年。復興は、道半ばですが、原高においては、着実に新しい歩みが進んでいます。皆さんの頑張りによって、学習や部活の面でも充実が図られてきました。下級生たちも、そのよい流れを引き継いでくれるものと確信しています。原高の卒業生であることに誇りを持ち、それぞれの道で活躍してくれることを祈念します。

平成30年度  
原町高等学校同窓会総会  
8月4日(土) 総会17:00~ 懇親会18:00~  
JR常磐線原町駅前『ホテルラフィーフ』  
☆参加を希望される方は、下記までご連絡ください。  
お問合せ 原町高等学校同窓会事務局  
TEL 0244(23)6196 FAX 0244(23)7909  
harakou.dousoukai@gmail.com

島の復興を全世界に発信するには絶好の機会です。五十五回卒の今井正人君はマラソンでのオリンピック出場を目指しています。震災と原発事故からの復興をはじめ、それぞれの道で夢の実現のために、決して諦めず、最後まで走り続ける原高健児を、私たちは応援し支え続けます。